

介護老人保健施設オアシス21 後藤 智波(准看護師)

功 績 1/23～花川病院にてコロナクラスター発生あり、看護師の人員不足の知らせが入る。花川病院のコロナ感染病棟へ、越境勤務を申し出され、臨時異動し花川病院勤務をしていただいた。看護師としての使命感にたち、2/18にコロナ感染症のスピード終息に貢献した功績は大きい。連勤にも関わらず、快く笑顔で務めており、花川病院の危機をワンチームで乗り越えることができた功績。

推 薦 者 三上久美子

推 薦 理 由 今回の勇気ある感染対策のあるべき姿として「どのような病状の方でもオアシスの看護で元気になる」と問い合わせ、利用希望者が殺到するという看護部の理念実現時の姿を邁進しており、利用者さんやご家族、そして職員からの信頼もあつくここに推薦します。

内 容

後藤はオアシス21創期から勤務しており、勤務異動もあり花川病院にも長年にわたり利用者さんの健康管理や満足度向上に尽力していた。

(現在はオアシス勤務にて明るく元気にケアしていただいている)

1/23～花川病院にてコロナ陽性者あり、徐々に陽性者が増えクラスター発生となった。職員も次々と感染され、深刻な人員不足に陥っていることを情報共有していた。

後藤は看護師としての使命感にたち、越境勤務を申し出て、コロナ発生病棟に専属配置となった。連日夜勤にも快く引き受け、昼夜のフルPPE着用し、発熱や嘔吐処理など献身的は看護をされており、「私のできることなら、させていただきたい。」と前むきな姿が理念実現時の姿そのものであり、頼もしい限りであった。病院と施設枠を超えてワンチームの強みを最大限に発揮することができ2/18にコロナ感染症のスピード終息に貢献された。

オアシス21へ復帰後も元気で笑顔を絶やさずに、花川病院での経験を生かし感染対策に引き続き邁進され模範の職員となっている。

コロナ終息に尽力をつくした功績はとて大きく、花川病院と老健オアシス21がまさにワンチームになって勇気と元気を発信している。

今回、この後藤に理事長賞へ推薦します。